

厚生労働科学研究費補助金難治性疾患政策研究事業  
IgG4 関連疾患の診断基準並びに診療指針の確立を目指す研究  
分担研究報告書（平成 29 年度）

## IgG4 関連肝病変の検討

研究協力者 氏名 梅村武司 所属先 信州大学医学部消化器内科 役職 准教授

研究要旨：IgG4 関連疾患は全身疾患である。しかし、肝臓における病態についての報告は少ない。本年は既報のまとめを行い IgG4 関連肝病変の有無についての検討を行った。少数例の 4 編の報告があり肝病変の存在を示唆する所見であった。今後は全国規模での肝病変の検討が必要である。

### A. 研究目的

IgG4 関連疾患は全身性疾患である特に自己免疫性膵炎、IgG4 関連硬化性胆管炎は臨床的病態が明らかにされているが肝病変についての詳細な検討はほとんどされていないのが現状である。本研究では現時点での IgG4 関連肝病変についての検討をされている報告についてまとめた。

### B. 研究方法

現在までに IgG4 関連疾患（自己免疫性膵炎、IgG4 関連硬化性胆管炎）における肝病変の病理学的検討が行われた報告について検討を行うこととした。  
（倫理面への配慮） 倫理上の問題はない。

### C. 研究結果

4 編の論文の報告があり、8 例から 19 例の肝内の病理学的特徴を表 1 にまとめた。

### D. 考察

IgG4 関連肝病変は存在する。

### E. 結論

IgG4 関連肝病変の全国調査が必要である。

### F. 健康危険情報

なし

### G. 研究発表

#### 1. 論文発表

なし

#### 2. 学会発表

なし

### H. 知的財産権の出願・登録状況

なし

表 1 IgG4 関連肝病変のまとめ

	Umemura (n =17)	Nishino (n =8)	Deshpande (n = 10)	Naitoh (n = 19)
<b>Portal inflammation</b>	6 (35)	8 (100)	7 (70)	7 (37)
<b>Interface hepatitis</b>	4 (24)	0 (0)	7 (70)	-
<b>Lobular hepatitis</b>	7 (41)	-	7 (70)	10 (53)
<b>Plasma cells</b>	6 (35)	-	9 (90)	5 (26)
<b>Eosinophils</b>	4 (24)	-	9 (90)	4 (21)
<b>Ductal proliferation</b>	10 (59)	8 (100)	-	-
<b>Bile duct damage</b>	10 (59)	-	-	6 (32)
<b>Canalicular cholestasis</b>	9 (53)	-	-	6 (32)
<b>Fibrosis ≥ 3</b>	7 (41)	0 (0)	1 (10)	-
<b>IgG4-positive cells</b>	9.5 (0-55)	2.2	60 (0-140)	7.2 (0-25)